

夕暮れのビーチを堪能。0731ビーチの日

日本記念日協会が今年からビーチの日として制定した7月31日、日本ビーチ文化振興協会は東京都港区おだibaビーチでBeach Days in ODAIBA 2017を開催した。平日の日は15時からイベント開始、夏の夕暮れがレインボーリングを照らす中、真夏のビーチを違った角度で楽しめる「ビーチボイスコンテスト」や「真夏のビーチde雪合戦大会」、フリンギングヨガなどが行われた。また日が沈んでも、ライトアップされたおだibaビーチでサンセットビーチステージが設けられ、ビーチ落語やライブが奏でられた。

夕刻のお台場を訪れた観光客や仕事帰りで行き交う人々に、ビーチでの楽しみ方や新たな魅力を感じてもらおうと、かけを与えられたイベントになった。



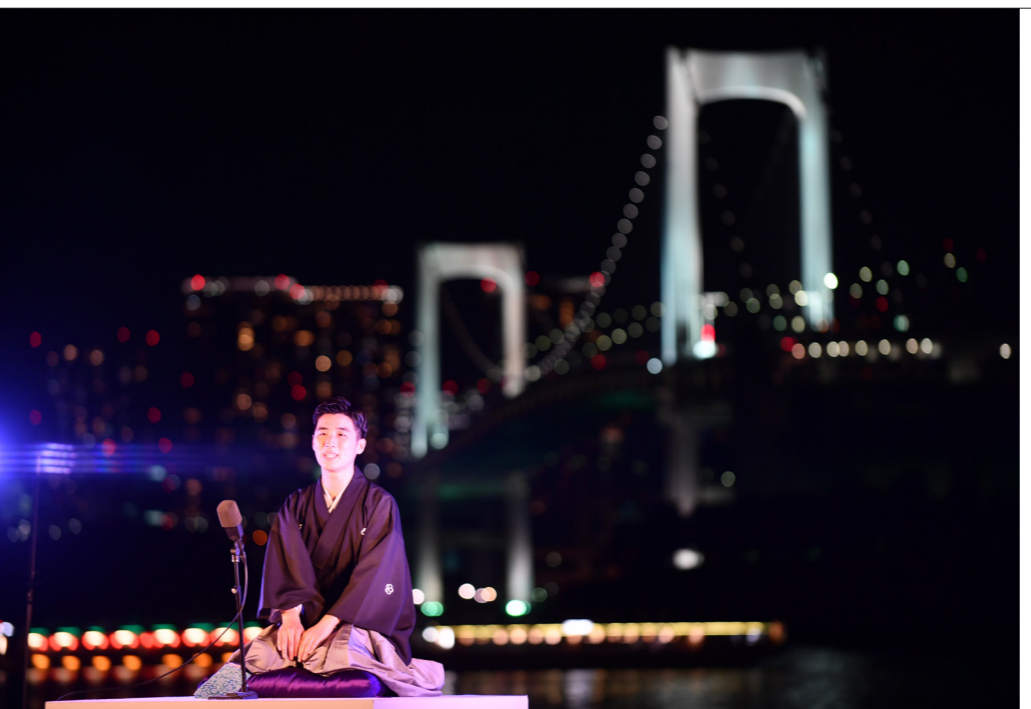
雪合戦をスポーツ化し、砂を雪に見立てて行う「真夏のビーチde雪合戦大会」

イメージキャラクターは、61歳のビーチボイスに決定!

幅広い年齢層にわたって全国津々浦々から応募のあったコンテスト。ヤング、ミドル、シニアとそれぞれ部門ごとに選出され、厳正なる書類審査により、「0731 Beach Day」イメージキャラクターに授けられた。その中で栄えある第1回ビーチボイスコンテストのグランプリに輝いたのは、福岡県在住の伊藤寛之さん。伊藤さんは現在61歳、20年間ビーチサッ



2017 Beach six
【ヤング部門】伊藤寛之さん
【ミドル部門】伊藤寛之さん
【シニア部門】伊藤寛之さん
【グランプリ】伊藤寛之さん

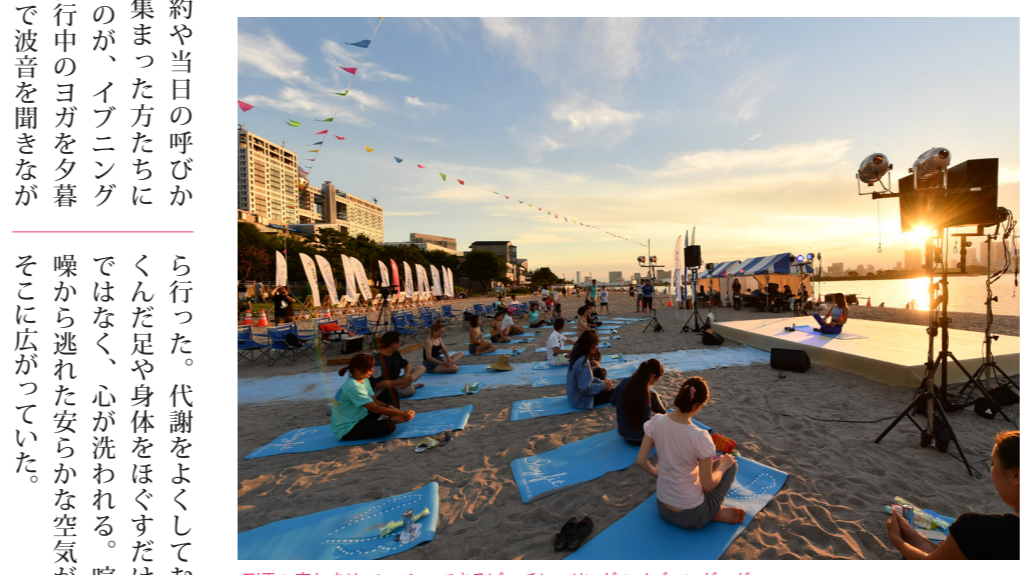


ライトアップされたレインボーリングをバックに高座へ上がった林家けい木さん

日本初のビーチ落語!
林家けい木さん

ビーチで楽しめる娯楽として発案されたのが、なんと落語。炎天下のビーチではなく、日が沈み飲食しながら耳を傾けられるビーチステージで行われ、普段落語を聞かない若者の興味を引いていた。高座に上がった林家けい木さんは、レインボーリングをバックにした高座に袴姿はなかなかありませんね。ライトアップされたしつとりとした空間で、日本初のビーチ落語を軽快に聞かせてくれた。

海辺でリフレッシュ! イブニングヨガ



日頃の疲れをリフレッシュできるビーチヒーリングのイブニングヨガ

2017年 今後の日本ビーチ文化振興協会イベントスケジュール

9月 3日	酒田ビッグビーチフェスタ 2017
9月 15日	第5回ビーチライフイン柏崎
10月 1日	ビーチライフふれあいフェスティバルin阿字ヶ浦 杉並区事業 enjoyビーチバレー
10月 22日	別府市長杯 ビーチバレーボール4人制大会(予定)
11月 11日	ビーチデジフェスティバル OKINAWA 2017(予定)

編者後記 朝日健太郎

日頃より、多くの方から温かいご支援を頂いている我々NPO法人日本ビーチ文化振興協会は、今年度創設15周年を迎えることができました。これまでの足跡を振り返ると、日本には「ビーチ」を愛する方が多く、その仲間皆様と一緒に歩んでまいりました。感謝深いものができます。15周年を迎え、当協会一同心より感謝申し上げます。我々より感謝申し上げます。7月31日を「ビーチの日」として記念日に制定させていただきます。より一層この日本にビーチ文化が定着し、親しむにビーチから日本が元気になる社会を目指し、活動を続けてまいります。これまでご一緒させて頂いてきた皆様へ感謝申し上げます。これからも我々らしくはだしの足跡を歩み、一歩一歩進んでまいります。

足跡はだし

INFORMATION
あなたの街のビーチや港を紹介しませんか?
「はだし文化新聞」では、皆様の街のビーチや港の情報を随時募集しています。ぜひご意見をお寄せください。
〒104-0033
東京都中央区新川1-17-3階
NPO法人日本ビーチ文化振興協会
「はだし文化新聞」お便り係
メール: info@beach.jp
ファックス: 03-5563-1260

はだし文化新聞

2017年8月31日発行 通巻第8号
発行/NPO法人日本ビーチ文化振興協会
編集人/朝日健太郎
〒104-0033 東京都中央区新川1-17-3 リバーサイド茅場町3階
電話 03-3552-1171

INDEX

1面	特別対談:真鍋政義×朝日健太郎 地域活性化を担うプロチームにかける情熱
2-3面	特集:ジャパニーズビーチゲームズフェスティバル2017 旗揚げイベント2017 連載:朝日健太郎が目利きする砂ソムリエ 連載:アジアビーチゲームズ・メダリストインタビュー
4面	特集:0731 Beach Day in ODAIBA 2017 連載:私が見た世界のビーチ 編集後記:はだしの足跡



朝日 プロチームをつくりたいと思った経緯からお聞かせください。
真鍋 私は全日本の監督を8年間務めてきましたが、世界のビーチボール環境を見渡したときアマチュアスポーツが主となつていのは日本だけなんです。やはりオリンピックや世界選手権ワールドカップやメダルを獲得するためには、世界のプレーヤーたちと同じ土壌を作らなければならない。世界のプロと同じ環境で戦っていたのがプロチームをつくりたいと思つたきっかけです。

朝日 プロチームをつくりたいと思つた経緯からお聞かせください。
真鍋 私は全日本の監督を8年間務めてきましたが、世界のビーチボール環境を見渡したときアマチュアスポーツが主となつていのは日本だけなんです。やはりオリンピックや世界選手権ワールドカップやメダルを獲得するためには、世界のプレーヤーたちと同じ土壌を作らなければならない。世界のプロと同じ環境で戦っていたのがプロチームをつくりたいと思つたきっかけです。

地域活性化を担うプロチームにかける情熱

朝日 プロチームをつくりたいと思つた経緯からお聞かせください。
真鍋 私は全日本の監督を8年間務めてきましたが、世界のビーチボール環境を見渡したときアマチュアスポーツが主となつていのは日本だけなんです。やはりオリンピックや世界選手権ワールドカップやメダルを獲得するためには、世界のプレーヤーたちと同じ土壌を作らなければならない。世界のプロと同じ環境で戦っていたのがプロチームをつくりたいと思つたきっかけです。

朝日 プロチームをつくりたいと思つた経緯からお聞かせください。
真鍋 私は全日本の監督を8年間務めてきましたが、世界のビーチボール環境を見渡したときアマチュアスポーツが主となつていのは日本だけなんです。やはりオリンピックや世界選手権ワールドカップやメダルを獲得するためには、世界のプレーヤーたちと同じ土壌を作らなければならない。世界のプロと同じ環境で戦っていたのがプロチームをつくりたいと思つたきっかけです。

朝日 プロチームをつくりたいと思つた経緯からお聞かせください。
真鍋 私は全日本の監督を8年間務めてきましたが、世界のビーチボール環境を見渡したときアマチュアスポーツが主となつていのは日本だけなんです。やはりオリンピックや世界選手権ワールドカップやメダルを獲得するためには、世界のプレーヤーたちと同じ土壌を作らなければならない。世界のプロと同じ環境で戦っていたのがプロチームをつくりたいと思つたきっかけです。

ビーチゲームズ日本招致への第一歩！ 「第1回ジャパンビーチゲームズフェスティバル2017」



A. 初の開催となったビーチドッジボール
B. ナビゲーターの浅尾美和さんはビーチパレーボールスクールを担当
C. 揺れてはむむむ平らなラインの上を渡るスラックライン。日本で唯一ワールドカップに出場した経験を持つ大杉徹さんのパフォーマンス
D. 観客の注目を集めたフレスコボール。ユニフォームは各自由
E. 毎年恒例の海辺図書館



A. 新たに運び込まれた新しい砂でのプレイフル・サンドアート
B. 砂が抜け落ちて砂が積もらないビーチマットを敷けば、ベビーカーや車椅子でもビーチに降りられる
C. 須磨海岸で初めて行われた潮干狩り。2000人が集まった
D. 須磨海岸再整備事業竣工記念式典も行われた

生まれ変わった須磨ビーチ！ 須磨ビーチフェスタ2017、開催

日本ビーチ文化振興協会では、ジャパンビーチゲームズフェスティバル2017を5月3日(祝)水から5月7日(日)、東京都港区のお台場海浜公園お台場ビーチで開催したこのイベントは、例年よりデンマークで開催されてい

たビーチスポーツフェスティバルをグレードアップさせたもの。ジャパンビーチゲームズフェスティバル実行委員会の朝日健太郎会長は「ゆくゆくはビーチおよびマリンスポーツの総合競技大会として昇華させていく」と述べる。その第一歩となった本イベントは、「観戦型」「体験型」と区分けし、「ビーチフラインクアスタ」「スラックライン」「ビーチボール」などの競技が加わり、拡大化を図った。

「観戦型」で最も人気の高かったのは、国内ツアーの開幕戦が行われていたビーチパレーボール。連日スタンディング席が満席となる盛況ぶりでおよそ3,000人を記録した。次に多かったのは、ブラジルのメジャースポーツ、フレスコボール、MCやバスケミニジックに力を入れる運営はひととき目を引き、メインコートには人だかりができていた。

「体験型」で盛り上がったのは、ビーチドッジボールとビーチテニス。それぞれ1日で約500人が体験し、子どもでも簡単にできる楽しさを味わった。

全9競技、5日間に渡って展開された本イベントは、延べ約6万人を動員。ビーチスポーツの存在や新たな可能性を発信し、「アジアビーチゲームズ」ワールドビーチゲームズの招致実現に向けて前進した。



家族連れやスポーツ競技者が利用しやすいようになった須磨海岸は、平成元年から整備工事に着手約17万㎡の砂を搬入しJR須磨駅前の砂浜の奥行と遠浅の範囲を広げた。

5月28日(日)には、完了記念として神戸港開港150年記念イベント「須磨ビーチフェスタ2017」が開催された。当日はビーチスポーツを体験できるコーナー、当地グルメが堪能できる「食の祭典」や潮干狩りを楽しむ人々であふれ約36000人が集まった。神戸市は、須磨の東側の海辺の整備も、今後取りかかると予定。

さまざまな目的で利用できるビーチは、まさに夏だけではなく通年利用しやすくなった。

ビーチで遊んだ後は、須磨駅に設置されている足洗い場で砂を落として電車で乗ることができるよう。新しく生まれ変わった須磨のビーチには、普段の生活とビーチの間に境界線が存在しない。

村瀬晴香 銀メダル

「シルバークレクター」ではなく、
次は絶対に金メダル

始めたきっかけ

ビーチサンボは昨年の春に始めたばかりなんです。でも私は柔道家なので、4年前からサンボをやっています。

2013年ユニバーシアード(ロシア・カザン大会)の開催競技にサンボが入ることを当時の大学の先生に聞き入りました。大学では体育学部武道科で勉強していたので、サンボは当然知っていましたが、しもともと興味もありませんでしたから先生にサンボやるか?と聞かれて、まあ、やります!と軽いノリ(笑)で始めました。国内予選大会で優勝し、ユニバーシアードに出場した結果は80kg超級で銅メダル。

ビーチゲームズを振り返る

昨年の5月に、アジアビーチゲームズが9月にあるのを知り、本格的に練習を始めました。ビーチサンボは、やはり砂の上なので、ランスをどのが難しいです。足が取られる中、どう技をかけていくのか。ダンナでの決勝も、自分が技をかけていたらつづれて、砂についたので負けてしまいました。本当に悔しかったです。自分がビーチサンボの魅力ではないでしょうか。

ビーチサンボはサンボとも違って、時間も短いし、ひとつの技で勝負が決まってしまうんです。ほぼ投げ技の、一番狂わせも起るので面白いです。あのドキドキ感や、観ている方はちょっと怖いですけど、観ている方はたまらないと思いますよ(笑)。

私に勝ったのは地元ベトナムの選手でした。他の階級で男女ともベストムの選手が活躍していました。チームとしてビーチサンボを研究してきた印象を受けていた。だから今回の大会では絶対に金メダル。

あと、やっぱりビーチサンボは女子が少ない。今回のダンナも一人でした。私も子どもと競技者が増えるように柔道の同僚や後輩をして話しています(笑)。

今後の目標

私は、2013年、2014年、2015年とロシア・モスクワで行われたサンワールドカップで3年連続銀メダルでした。今回のアジアビーチゲームズも銀メダルで、まわりからシルバークレクターと呼ばれるまでです。

あんなにうれしかったです。柔道の同僚や後輩をして話しています(笑)。



PROFILE
Haruka Murase
1989年10月24日生まれ、静岡県立庵原高校、国際武道大卒業。千葉薬品所属

特集
アジアビーチゲームズ
メダリスト

MEDALIST



Interview

2016年9月、ベトナム・ダナンで第5回アジアビーチゲームズが開催された。アジアビーチゲームズで日本は10個のメダルを獲得し、今回は日本ではまだマイナーではあるが、メダル獲得により存在感を示した各競技のメダリストにインタビューした。文/小嶋コス

貞松慶美 銅メダル

ダンスでの表現力や
体を動かしてきたことが生かされる

アジアビーチゲームズへの準備

初めてアジアビーチゲームズの話を聞いたときは「ああ、出たい、出たい」と軽い気持ちでした。でも代表選手に決まったら目も定まらず、アジアカップやアジアオリンピック評議会主催の大会で、一人で目の丸を青負って、しかも初めの女性選手で、なんというかしら出したらレップシがかわかってしまった(笑)。

プレッシャーは練習しかないと思って、それからずっと練習を続けて、大会の2、3カ月前にはベトナムまで行って向こうの先生に稽古を付けてもらいました。大会直前、ダンナに聞いてもずっと練習していたのですが、それでも他の国選手の練習を見たら、上手すぎるというふう(笑)。

ベトナムの現地で、ドゴンタイカークトゥーム龍虎の型は綺麗で華やかさもある。女性的美しさが出ます。私一番好きな型なんです。本番は余裕はありませんでした。緊張しながらも失敗せずに最後までできて、ホッとしました。全然、順位のことなんて考えませんでした。

だから銅メダルももらえることになって驚きました。でも応援してくれた人が本当に喜んでいてよかったです。

それとベトナムはじめ他の選手たちも応援してくれて、その中で、選手同士で応援して、競って、メダルを争っているのも、グローバル視されるのかもしれない。選手同士で練習もしていました。お互いに緊張もほぐれて、自分の駒になったと思います。

始めたきっかけ

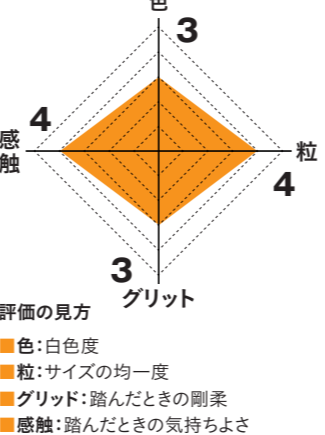
ポピナムを始めて4年くらいに



始めたきっかけ

砂ソムリエ

第8回



評価の見方
色:白化度
粒:サイズの均一度
グリット:踏んだときの剛柔
感触:踏んだときの気持ちよさ
反応:踏んだときの衝撃

総合評価
〈はだし〉2つ!!

兵庫県美方郡新温泉町

浜坂海岸

ユネスコ世界ジオパークに認定された山陰海岸オパークの一部である浜坂海岸。実は個人的に思い入れのある砂です。ある。十数年前、縁あって新温泉町を訪問し、その時の海岸を知り、総合力の高いビーチであることを地元の方に進言していた。それから12年経ち、また浜坂海岸を訪問することができた。今回は少しノスタルジックになりました。今回は少ししてみた。ホッとする砂である。角の取れた細やかな砂粒が足を包み込む。この砂たちは、風いだ日本海と折り重なり、静かに佇む雰囲気を出している。自分をリセットしたい時にそこ踏んでみるには最高の砂である。幾つになってもこの綿のような感じが心地よい。故郷の砂とはこういうものである。

なまこが、女性の大活躍も向いています。ポピナムは大きく、本人初のポピナムマスター(ベトナムの武道のイメージ)は、ときにコミカルでエンターテイメント性の高い動きもあるため、観客席に中々入り込み、その表現力や体を動かして、その中々です。



PROFILE
Yoshimi Sadamatsu
1983年12月20日生まれ、兵庫県出身。鈴蘭台西高、神戸芸術工科大学卒業

なまこが、女性の大活躍も向いています。ポピナムは大きく、本人初のポピナムマスター(ベトナムの武道のイメージ)は、ときにコミカルでエンターテイメント性の高い動きもあるため、観客席に中々入り込み、その表現力や体を動かして、その中々です。

アジアカップでベトナム代表として出場し、銅メダルを獲得したことは、私の自信になりました。ダンスは長く続けていますが、メダルのような形になって残ることにはつながっていません。ポピナムでメダルを取ったのもアジアカップの公式指導員になりました。女性や子どもにも教える先生になってもっと全国にポピナムを広めたいです。